

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 金子産業株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化、掲示し、会社のあるべき姿を、社員に共有している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・社内に法令遵守の重要性を掲示し、チェックシートを用いて確認を行っている。 ・安全運転管理者やチェック担当者を任命し、確認を行っている。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、全社員に向け重要性を発信している。										10								16
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・自社の事業活動が、社会環境に及ぼす影響について、朝礼等を通して発信している。 ・エネルギー消費管理について担当者を任命し、定期的に報告・共有を行っている。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・企画物件・施工物件等の企業活動に伴うデータを管理し、保護している。								8.2 8.3	9									
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・常日頃から個人情報は外部の目に触れない場所(鍵付)へ保管している。 ・取得した個人情報は限定した者のみで管理するようにしている。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・顧客からの指摘等を共有し、双方のコミュニケーションに努めている。 ・定期的な情報共有・価格調整を行い、協力業者の利益保護に努めている。																	16	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●											9		11		13.1					16
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●										8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・ベテラン社員の長期雇用。 ・女性社員の積極的採用。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・体調や不安心がある社員への声かけを行っている。 ・RKY活動・災害防止協議会、安全パトロールを定期的に実施し、労働安全衛生活動に努めている。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・賃金・職能・職務基準など年1回以上、役員等で見直すようにしている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理・業務効率化の向上による、労働時間の短縮や、有給休暇の取得に関して、奨励している。 ・子どもの学校行事や地域活動に、社員の積極的な参加を促している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・能力開発のための各資格更新、取得、研修への必要経費の支給や勤務時間の調整を行っている。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・朝礼時に健康状態の把握・交通事故への注意喚起を行っている。 ・毎年全社員の健康診断実施。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・昇進・昇格などに人種・性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・障がい者雇用、定年退職再雇用など、人材が活躍できる職場環境の整備に取り組んでいる。 ・性差なく現場代理人を任命している。				4.4 5.5	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・毎朝の体温測定の実施、体調管理記録表掲示。 ・会議は可能な限りWEB会議参加を実施。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●										8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4			8	9			12						

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	【予定】エコアクション21取得【令和4年2月実施】 ・廃棄物の適正分別・再資源化を促進し、総排出量の確認を定期的に行い、再資源化率の向上に取り組んでいる。		3.9		6.3				11.6	12.4		14.1	15.1	
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	【予定】エコアクション21取得【令和4年2月実施】 ・エネルギー使用量を把握・共有し、省エネ・エコドライブ等を推進し使用量削減に取り組む。 ・社内の照明をLED照明に取替え、昼休み等の電気消灯など、電力使用削減に努めている。				7.3					13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	【予定】エコアクション21取得【令和4年2月実施】 ・温室効果ガスの排出量を把握・共有し、省エネを促進し排出量削減に取り組む。 ・事業活動に伴う、環境目標を設定している。		2.4			7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	・建設廃棄物を処分時はマニフェストで徹底管理している。			6.6							14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	・再生紙の使用や、一般廃棄物の分別などごみの削減や再利用を実施。 ・残材や解体材をできる限り再生利用している。				9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	・設計・施工の際に、節水型トイレを積極的に提案・推奨している。 ・節水を呼び掛ける掲示を行い、積極的に意識の向上に努めている。		2.4		6.1 6.3 6.4 6.6 6.b			11.5		14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	・再生用紙・裏紙の利用を推進している。 ・事務用品のグリーン製品の購入を心がけている。				9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		1	2		6.4				12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●								11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4	11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・伐って、使って、植えて、育てるの持続的な森林利用への取組みを推進している。	●				6			9.4	11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●					6.1 6.3 6.6				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●									12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●						9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4	11.6 11.a	12.8	13			17.17	

製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●	・工事に係るリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・安全性や品質を確保するため、定期的な点検を行っている。 ・建築物は法令に沿った各種検査を行い、瑕疵担保責任保険に加入するなど対応している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●	・スロープや手すりの設置等、ユニバーサルデザインを考慮したサービスを実施している。									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●	・工事において、地元のお客様の森林や地域の森林組合の木材等、県産材を優先利用し、地産地消を推進している。		2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●							7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産官学連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●	・災害活動ボランティア、献血活動、清掃活動など地域の活動に参画している。 ・古切手集めや・会社で出るペットボトル等のフタは洗浄後分別し、学校や地域でのボランティア団体へ寄付をしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災・減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●	・社内にハザードマップを掲示し、避難経路を周知している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災・減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●	・消防団活動へ、会社・社員とともに参加している。 ・天草地域振興局と熊本建設業協会の大規模災害時の支援活動に関する協定書に基づき災害時に対応できるようにしている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場間連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●	・職場体験・インターンシップの受入れなどを実施し、地域の子どもたちに対して、職業の学びの場を提供している。				4					8.6		10.2					17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●	・職業体験やインターンシップを通して地域の子どもたちに対し、地元で働くことの意義を伝えるとともに、積極的に地元の学生や生徒を雇用している。				4.4					8.5 8.6							17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●		2		4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15	17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。